

(学部・学科の目的)

第4条 国際コミュニケーション学部の目的を次のように定める。

現代社会では、「グローバル化」「ボーダレス化」が進み、異文化に対する理解、尊重や相互交流、地球的・多元的な視野が求められている。又、その前提としての自国文化・日本事情への理解や、少子高齢化に伴う異なる世代への理解力も期待されている。変化が速い社会にあっては、法律、政治、経済等への理解も必須である。このような社会にあつて、本学では、国際的な視野をもち、自己や自国文化、および多様な他者に対する理解力に裏付けられた人材の養成を目指す。

2 国際コミュニケーション学科の目的を次のように定める。

(1) 国際語である英語の能力、プレゼンテーション、ビジネス、インターネット等の応用力を習得し、仏語、中国語、韓国語といった語学能力の幅を広げること。

(2) 異文化や国際社会を理解すること。

(3) 自国文化や歴史、社会を理解すること。

(4) 乳幼児や高齢者等を理解すること。

(5) ボランティアやインターンシップ、海外研修等の「行動・体験」の領域を重視すること。